

【資料 4-10】 学際教育研究部の活動

部門		2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
大学院教育研究 推進部門	大学院生による「模擬授業」※1	4	2	2			
	「教養教育実習」※2	8	11	12	7		
	研究会活動支援制度(2018年度開始)※3			7	9		
学部教育研究 推進部門	「研究を他者に語る」実施人数 (学部教務委員会と連携)※4	115	67				
	「総人のミカタ」の支援 (2017年4月開始)※5		前期13回 後期13回	前期13回 後期12回	前期13回 後期11回		
講演会・地域連携等 推進部門	総人・人環学際セミナー	1	1	1	1	0	0
	シンポジウム等の共催	5	3	5	0	0	1
	[上記の内、国際シンポジウム]	[5]	[1]	[3]			[1]
広報活動・プロジェクト等 推進部門	報告書発行	2	1	2	1	0	0
	HPの更新						

- ※1 大学院生による大学院生向けの模擬授業
 ※2 博士後期課程学生を対象にした、指導教員監督のもとで全学共通教育科目の一コマを担当する実習制度(授業見学、模擬講義、レポート作成)
 ※3 複数の研究室の大学院生が協力して運営する研究会活動を支援する制度(施設支援・経費支援)
 ※4 卒業予定の学生が自身の卒業論文・卒業研究の内容を異分野の教員(聞き役教員)にわかりやすく語ることを通じてコミュニケーション能力や多様かつ総合的な視点で物事を観る能力を培うことを目的とした制度
 ※5 大学院生による総合人間学部生向けの模擬講義企画
 (主催:人間・環境学研究院院生による総合人間学部生向け模擬講義企画「総人のミカタ」運営委員会)

2016 (H28)

学際セミナー	1・第1回 総人・人環学際セミナー「ガラス:芸術と科学」(2016年11月16日) [国際]
シンポジウム	1・講演会「Influence of Age and Culture on Memory」(2016年7月30日) [国際]
	2・日英共同カンファレンス「近代ヨーロッパにおける理性・差異・寛容」(2016年8月2日~4日) [国際]
	3・講演会「人文地理学の最前線」(2016年11月12日)
	4・日米合同国際ガラス科学技術シンポジウム、(2016年11月13日~15日) [国際]
	5・若者文化シンポジウム「ドイツでコミケ? ドイツにおける日本のサブカルチャー」(2017年3月21日) [国際]
報告書	1・庭園調査報告書『ながはまのお庭 Vol.4』
	2・『学際系学部の教養教育』(2017年3月発行)

2017 (H29)

学際セミナー	1・第2回 総人・人環・学際セミナー「色:アート・色覚・色彩論」(2017年11月30日)
シンポジウム	1・関西言語学会第42回大会(2017年6月10日~11日)
	2・The 28th Meeting on Glasses for Photonics (2018年1月23日) [国際]
	3・「研究を他者に語る」の先へ 教養と学際未来を考える(2018年3月2日)
報告書	1・『総人・人環 卒業生・修了生インタビュー』(2018年3月発行)

2018 (H30)

学際セミナー	1・第3回 総人・人環・学際セミナー「水」をめぐる科学・経済・芸術(2018年11月29日)
シンポジウム	1・The Winter's Tale (2019年1月6日)(シェイクスピアの『冬物語』を原語で上演) [国際]
	2・The 29th Meeting on Glasses for Photonics (2019年1月28日) [国際]
	3・日本藻類学会第43回京都大会および公開シンポジウム(2018年3月16日~17日)
	4・山岡記念財団若者文化シンポジウム「日本とドイツのメディアカルチャー「日独の若者文化・ライフスタイルの研究」ワークショップ」(2019年3月19日)
	5・アーティストブリッジ2019 in 京都「封鎖に抗して ガザ・アーティストは語る」(2019年2月27日) [国際]
報告書	1・『「総人のミカタ」活動報告書 2017年度前期~2018年度前期』(2018年10月発行)
	2・『総人・人環 卒業生・修了生インタビュー Vol.2』(2019年3月発行)

2019 (R1)

学際セミナー	1・第4回 総人・人環・学際セミナー AIと創造性(2019年11月28日)
報告書	1・『総人・人環 卒業生・修了生インタビュー Vol.3』(2020年3月発行)

2021 (R3)

シンポジウム	<p>・第1回 国際的研究のためのワークショップ(主催:人間・環境学研究科 学際教育研究部 国際化推進部門)[国際] [第一部] 基調講演とQ&A(2021年11月20日(土)10:00~12:00 Zoomによるオンライン開催) ・志村 真幸「学問は「越境」できるのか:南方熊楠を研究する」(京都外国語大学/2008年学位取得/比較文化史学) ・岡澤 剛起「サイエンスをすること、海外ですること」(神経科学研究所(上海)/2008年総合人間学部卒業/神経科学)</p> <p>[第二部] 国際会議でのプレゼンテーションに関するオンライン・ワークショップ(2022年1月4日(月)10:00~15:00)(途中1時間休憩) 1 【参加要件】人間・環境学研究科所属の博士課程学生・ポスドク等、これから国際的に研究発信をしようとする若手研究者 【人数制限】12名 【講師】 Dr. Iris WIECZOREK(イリス・ヴィーツォレック博士/株式会社IRIS科学・技術経営研究所代表取締役社長) 【Agenda】 ・Analyzing (self-)presentation styles / ・Preparing yourself & overcoming fears / ・Giving a "perfect" presentation / ・Tips & Tricks to present yourself ・Presenting your research to the global community / ・Everything under control? Dealing with difficult situations</p>
--------	--

【資料4-11】外部資金等の受入状況

		年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
科学研究費 助成事業	申請件数(新規のみ)		79	78	53	54	71
	内定件数(新規)		38	28	23	20	28
	内定件数(新規・継続)		104	68	77	74	82
	内定金額(千円)		192,100	157,700	252,330	226,980	296,400
	内定金額(間接経費含む)(千円)		199,290	205,010	310,560	279,360	364,800
競争的外部資金	採択件数(総数)		7	9	7	5	6
	内訳	文部科学省	5	6	5		
		他省庁等	2	3	2		
	受入金額(千円)		210,181	167,915	125,981	68,889	73,272
共同研究	受入件数(総数)		19	14	15	11	12
	受入金額(千円)		22,270	36,419	34,644	35,334	10,753
	共同研究員受入人数		0	1	1	1	1
受託研究	受入件数		2	10	10	9	10
	受入金額(千円)		12,800	177,185	137,173	121,687	150,535
寄附金	受入件数		23	16	35	47	23
	受入金額(千円)		26,723	22,410	22,937	45,374	6,423
産業財産権・ 特許等	産業財産権の保有件数		5	5	7	10	10
	特許	出願数	4	1	0	1	2
		取得数	1	0	3	3	0
	ライセンス	契約件数	3	3	2	3	3
		収入額(千円)	789	1,243	0	209	76